

陸上自衛隊第14旅団広報誌



Vol. 192

新年号

今号の内容

新年の挨拶

- ・ 第14旅団長
- ・ 四国四県知事
- ・ 自衛隊協力団体
- ・ 四国四県地方協力本部長
- ・ 四国四県隊区担任部隊長

謹賀新年

令和七年元旦

年頭の辞

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、令和七年の清々しい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げますとともに、平素より第十四旅団に対する格別のご協力とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、国際社会は国家間の競争が益々顕在化し、力による一方的な現状変更やその試みが既存の国際秩序に対する深刻な挑戦となり、戦後最大の試練の時を迎え、新たな危機の時代に突入しています。

我が国が位置するインド太平洋地域は、グローバルなパワーバランスが大きく変動する安全保障環境と課題が最も際立つ地域であり、核兵器を含む大規模な軍事力が拡大され、今後も流動的な現状が続くと予想されます。

中国は、核・ミサイル戦力を含む軍事力の増強に対し更なる不透明性を高めるとともに、尖閣諸島周辺をはじめとする東シナ海、日本海、さらには西太平洋など、いわゆる第一列島線を越え、第二列島線を含む海域へ活動域を広げつつあります。また、台湾周辺においても度重なる軍事演習により、台湾に対する軍事的圧力を高めています。

北朝鮮は、我が国を射程に収める弾道ミサイルに核兵器を搭載できる能力を既に保有していると見られ、その軍事動向は我が国の安全保障にとって一層重大な脅威であるとともに、地域と国際社会の安定を損なうものとなっています。

ロシアは、ウクライナ侵略中にあっても、北方領土を含む我が国周辺で中国と共同での活発な軍事活動を継続させています。

国内においては、昨年一月一日に発生した能登半島地震、八月の日向灘地震による初めての南海トラフ臨時情報（巨大地震注



第14旅団長 陸将補 大場 剛

意)の全国各地での記録的な大雨による大規模災害が頻発するなど、国民の生活に甚大な影響を及ぼしています。

その中で我々第十四旅団は、四国の防衛・警備、災害対応のほか我が国に脅威が及ぶ際は、全国へ機動展開し抑止・対処の中核を担う部隊として日夜厳しい訓練に励み、国民の負託に応え地域の皆様から信頼される強い部隊となれるよう努力してきました。昨年七月には、米陸軍との実動訓練において日米の共同対処能力を向上させるとともに、米海兵隊との日米合同演奏会により日米同盟の絆を深め、十月には全陸上自衛隊が参加する陸上自衛隊演習において増強第十四旅団が機動展開から敵の侵攻を阻止する一連の行動を演練し、その実力を着実に向上させました。

加えて、南海トラフ地震をはじめとする各種自然災害に対しては、昨年四月に発生した豊後水道地震において自主的に部隊を行動させて被害状況を確認させるとともに、迅速かつ的確に対応するため徳島・香川・愛媛・高知各県の防災訓練を通じて災害対処能力を向上させるほか、各県の自治体及び関係機関等との連携強化に努めてまいりました。

本年も与えられた各種任務を必ず達成するため「万事任務が基準」を合言葉に、いかなる事態にも即応できるよう「実力の進化」を図るとともに、常に「地域との連携」を意識し、共に発展できるよう努力してまいります。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げますとともに、第十四旅団に対する変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶いたします。



徳島県知事 後藤田正純



新年明けましておめでとうございます。

陸上自衛隊第十四旅団の隊員の皆様、そして御家族の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、ロシアのウクライナ侵攻は、既に三年近くに及び、北朝鮮のウクライナ派兵など、より複雑で長期混迷化の様相を呈し、中東でのイスラエルとイスラム組織ハマスとの紛争は収束の目途が付きません。

我が国周辺では、昨年八月に中国軍機の領空侵犯が初確認され、九月は対領空侵犯措置の開始以来初となるフレアによる警告をロシア軍機に対して行うこととなり、十月には中国が台湾を包囲する形で軍事演習を実施し、北朝鮮の核・弾道ミサイル開発誇示も更に進むなど、安全保障環境は戦後最も厳しく複雑なものとなっております。

一方、国内では、昨年元日に能登半島地震が発生し、自衛隊は東日本大震災以上の長期にわたる災害派遣を実施、その傷が癒える間もなく九月に同じ地域において豪雨災害により被害に追い打ちがかかるなど、我が国は「災害大国」であるということ、また、再認識させられました。

また、八月には「南海トラフ地震に関連する情報」の運用が開始されて以来初めて「臨時情報（巨大地震注意）」が発表され、その脅威が切迫していることを痛感いたしました。

このような厳しい国内外情勢の中、自衛隊の皆様には、七十年以上にわたり、国民の安心・安全を守るため、一瞬の隙間も許されない各種警戒監視活動を行い、厳しい訓練を通じて精強性の維持・向上に努め、我が国の平和と独立を守り抜く努力を続けられていること、そして、「危険を顧みず身をもつて責務の完遂に努める」というその覚悟に対して、感謝と深甚なる敬意を表します。

本県におきましては、切迫する「南海トラフ巨大地震」をはじめ大規模災害への備えが喫緊の課題であり、強靱化とレジリエンス双方の視点から対策を加速させております。

しかしながら、いざ災害が起こった場合、被害を最小限に留めるためには、自衛隊の皆様のお協力・御支援が不可欠であります。

このため、過去最大の規模となる今回の「南海レスキュー」訓練を絶好の機会と捉え、県の災害対策本部訓練を連携して行うことにより、自衛隊をはじめ関係機関との実戦的な連携要領を演練することとしております。

県では、あらゆる事態に備えて、引き続き皆様との連携強化を図って参りたいと考えておりますので、今後とも、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、第十四旅団のますますの御発展と皆様の御多幸を心から祈念し、新年の御挨拶といたします。



愛媛県知事 中村 時広



明けましておめでとうございます。

令和七年の念頭に当たり、謹んで新春のお喜びを申し上げます。

陸上自衛隊第十四旅団の皆様方におかれましては、我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す状況においても、国民の生命と財産を守り、国家の存立を維持するという国民の負託にこたえるため、国防という崇高かつ極めて困難な任務に精励されており、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

また、愛媛県が実施する総合防災訓練や原子力防災訓練に参加され、被災者の救出・救護、道路啓開、ライフラインの復旧等、大規模災害発生時の連携体制を一層強固にしていたくなど、本県の防災行政の推進に格別の御理解、御協力を賜っており、厚くお礼申し上げます。

更に、昨年一月の能登半島地震に際しては、極寒の被災地で物資輸送等の災害派遣に尽力されすとともに、昨年四月に発生した豊後水道を震源とする地震に対し、連絡職員を直ちに県庁へ派遣いただき、緊密な情報共有体制の構築にお力添えを賜りましたことに、重ねて深く感謝申し上げます。

近年、地球温暖化の影響により、台風や集中豪雨が激甚化・頻発化しているほか、昨年八月には、日向灘を震源とする地震により南海トラフ地震臨時情報が初めて発表されるなど、自然災害への備えが喫緊の課題となっております。

このため、本県では、自主防災組織の核となる防災士の養成に力を注いでおり、市長や企業・団体等、多くの皆様のお力添えにより、昨年十月末時点の防災士の登録者数が東京都を上回り全国一位となりました。

引き続き、地域防災力の更なる向上を目指して、防災士の活動推進をはじめ、緊急輸送道路や河川、砂防、港湾、海岸施設等の整備・改修や能登半島地震をふまえた機器整備など、ハード・ソフト両面から様々な施策を展開しているところですが、災害時に一人でも多くの県民の皆様の命を守るためには、自衛隊の方々の御支援、御協力が必要不可欠であります。

どうか皆様におかれましては、引き続き、地域に愛される四国の郷土部隊として、住民が安全・安心に暮らせる「愛顔（えがお）あふれる愛媛県」の実現にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、陸上自衛隊第十四旅団のますますの御発展、並びに皆様方の今年一年の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げます。



香川県知事 池田 豊人



新年明けましておめでとうございます。

令和七年の年頭に当たり、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

陸上自衛隊第十四旅団の皆様におかれましては、我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、国民の安全を確保し、ひいては我が国の独立と繁栄を支えるため、日々、業務に精励されとともに、自然災害や家畜伝染病に係る災害派遣など、住民生活の安定と地域の安全・安心に極めて大きく貢献されておりますことに、心から敬意と感謝の意を表します。

また、香川県におきましても、各種の防災訓練などに格別のご理解とご協力をいただいております、厚くお礼申し上げます。

さて、近年、国外では度重なる武力衝突や北朝鮮によるミサイル発射といった、国際秩序を脅かす事象が継続するとともに、国内では能登半島地震をはじめとする大規模地震や線状降水帯の発生などによる豪雨災害等の自然災害が頻発するなど、我々を取り巻く環境が大きく変化してきています。

本県では、このような状況に対し、災害対応や国民保護に関する訓練を実施するとともに、全国瞬時警報システムと連動したシエイクアウトの全県実施や防災教育の推進、また、各種自然災害へのハード面での対策を進めているところです。

このような対策を進めていくうえで、災害発生時や有事の際に危険を顧みず、住民保護や国防のために献身的に活動される自衛隊との連携強化は、極めて重要なことと考えております。

どうか、皆様方には、引き続き自衛隊の任務遂行にご尽力いただきまして、あらゆる世代が、一人ひとりその個性と能力を発揮し、活躍し続けることができ、豊かで幸せな生活を送れる「人生百年時代のフロンティア県」の実現に、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本年が、災害や事故のない、平穏な年になりますようお願いいたしますとともに、高度な即応性と機動性を備えた第十四旅団がますます発展されること、並びに隊員の皆様、ご家族の皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈りいたします。



高知県知事 濱田 省司



新年明けましておめでとうございます。

令和七年の年頭にあたり、謹んで新春のお喜びを申し上げます。

陸上自衛隊第十四旅団の皆さまにおかれましては、我が国の平和と国民の生命・財産を守るため、日夜、国土防衛や災害対応の任務にあたられておりますことに、心から敬意を表します。

特に近年では、中国が軍事力を急速に増強するとともに、東シナ海や太平洋などで活動を活発化し、また、北朝鮮は弾道ミサイルなどの発射を強行するなど、我が国を取り巻く安全保障環境は戦後最も厳しく複雑なものとなっています。こうした中、国防を担う自衛隊の皆さまの役割は、ますます重要になってきております。

また、昨年の元旦に発生した能登半島地震では、被災地において、安否不明者の捜索救助や孤立地域の解消、被災者支援のために災害対応活動をされており、国民の皆さまからの自衛隊への信頼と期待は、一層高まっております。

高知県におきましても、日頃から県の総合防災訓練などの様々な防災訓練にご参加いただくなど、地域の防災対応力の向上に多大なご協力をいただいております。災害に備え互いの顔が見える関係を築く取り組みが着々と進んでいることを、大変心強く感じております。

近年、全国各地で頻発・激甚化している豪雨による災害や、南海トラフ地震による超広域にわたる大規模災害など、本県を取り巻く自然災害のリスクは、これまで以上に高まっております。特に、昨年八月には、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が初めて発表され、南海トラフ地震の切迫度が高まっていることを改めて認識したところです。

これらの自然災害から、県民の生命や財産を守り、経済や社会活動を維持、発展させていくため、能登半島地震等の教訓を踏まえ、大規模災害に対する「事前の備え」の取組を強化するなど、引き続き、ハード・ソフト両面で様々な対策を加速し「安全、安心な高知」を実現していかなければならないと、その決意を強くして取り組んでいるところです。

こうした取組を着実に進めていくため、第十四旅団の皆様におかれましては、引き続き、ご支援、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。本年が、第十四旅団の隊員、ご家族並びに関係者の皆さまにとって幸多き年となりますとともに、ますますのご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

自衛隊家族会

陸上自衛隊第十四旅団の皆さん令和七年明けましておめでとうございます。
自衛隊家族会四国地域協議会の会長の原と申しますが、大場旅団長はじめ隊員の皆様には日頃から大変にお世話になっております。
昨年は元旦早々から能登半島地震、その後も各地で地震や豪雨、台風など自然災害に見舞われました。更に本来の任務であります国防につきましても、世界の安全保障環境は第二次大戦以降最も危険な状況となっております、各種事案への即応機動の任務を有する十四旅団の業務は大幅に増加し、多忙となっておりますとお聞きしております。
また業務の激増とは反対に人員の補充が十分でなく、個々の隊員の勤務が加重になり苦勞されているというところをお聞きし強く心配しております。
家族会として、これまでも新規隊員の募集に協力してきたところがありますが、今後も会勢を拡大強化し、組織の全力を挙げても募集業務に更なる協力を進めたいと考えております。
隊員募集と会の拡大は密接に関係していますので、現役隊員の皆様が家族会についての理解を深められ、ご両親などご家族の方に家族会への加入をお勧めしていただければ、隊員と会員を大きく増加させていくことが可能であります。
国の平和と独立を守る崇高な任務を完遂するためにも、自衛隊と家族会が一体となって頑張っていきたいと思っておりますので、今年もよろしくお願いいたします。



自衛隊家族会
四国地域協議会会長
高知県自衛隊家族会会長
原 洋吾



徳島県自衛隊家族会会長
岩野 幸男



香川県自衛隊家族会会長
平井 卓也



愛媛県自衛隊家族会会長
森川 建司

隊友会

明けましておめでとうございます。
令和乙巳（きのとみ）年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。
さて中国国政府は昨年五月、十月の二回に亘り、台湾を含む東シナ海などを管轄する中国人民解放軍東部戦区をもつて、台湾の北部と南部、それに東部の、台湾をほぼ取り囲む海域において軍事演習を実施し、力による現状変更に強い意志を示し、我が国を含めた東・南シナ海周辺国家に強い衝撃を与えました。
これに対し、政府は令和四年末、長年GDP比一%前後に維持してきた防衛費を二倍の二%前後まで引き上げ防衛力の本格的強化を図るという強い決意を国内外に示しました。
これを受けて昨年八月、防衛省は概算要求としては過去最大規模の約八兆五千億を要求し、一段と厳しさを増す安全保障環境の中にあってもその抑止力を飛躍的に向上させ、戦いのない、平和な日本の実現をより確実なものにしようとしています。
このような状況の下、日本初の機動旅団たる第十四旅団に対する抑止力としての期待は益々大きくなっていきます。
昼夜を問わず鍛えられたその能力を遺憾なく発揮し、与えられた任務を完遂されますようご祈念申し上げます。
隊友会は国民と自衛隊の懸け橋として、今年も第十四旅団を応援して参ります。
最後に、第十四旅団全隊員並びにご家族の皆様方の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



隊友会四国担当執行役
香川県隊友会会長
林 政夫



徳島県隊友会会長
高木 謙至



愛媛県隊友会会長
小原 友弘



高知県隊友会会長
岡 亮

防衛協会

第十四旅団の皆様 『謹んで新年の御祝いを申し上げます』
我が国の平和と安全、併せて四国各県民の防衛警備・安全・安心の基盤として、日々任務にご尽力され、深く感謝申し上げますと共に、深甚なる敬意を表する次第でございます。
世界の安全保障環境は、長期に亘るロシアのウクライナ侵略、イスラエルを巡る中東地域の紛争等、世界平和を統制すべき国連安全保障理事会は機能不全となり、世界の平和と安全保障は、改善の端緒すら見えず、混沌として新年を迎えております。
我が国周辺も、近隣のロシアと中国が連携した力の誇示や示威行動、北朝鮮の度重なる弾道ミサイル等の発射や核兵器増産保持、台湾有事の危惧までも生じ、脅威は増すばかりです。
我が国が防衛戦略を改善し、防衛体制の増強や運用の変更等の整備を急いでいる現状は、我が国周辺の防衛環境に対し、我が国の平和と安全保障の観点から誠に悦ばしい限りです。
徳島県では、第十四旅団の二個部隊等が駐屯、陸海四個の部隊に、私達の徳島県防衛協会を始めとして、県隊友会や家族会及び各部隊の協力会、部隊OB会等合計十個の協力団体が連携し、防衛環境の整備や部隊等への支援・協力を実施しております。本年も引き続き、徳島県内防衛協力団体の中核として部隊・隊員皆様への支援・協力を実施します。
第十四旅団の益々のご発展と隊員皆様のご活躍、並びに、ご健勝・ご多幸を祈念申し上げます。



全国防衛協会連合会副会長
四国防衛協会連合会会長
徳島県防衛協会会長
近藤 宏章



香川県防衛協会会長
佐伯 勇人



愛媛県防衛協会会長
高橋 祐二



高知県防衛協会会長
山元 文明

地方協力本部長



自衛隊徳島地方協力本部長
一等海佐 袴田 重征

新年明けましておめでとうございます
皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎
えのこととお慶び申し上げます。旧年中は自衛
隊徳島地方協力本部に對しまして、格別のご支
援とご協力を賜り心から御礼申し上げます。
昨年は、地本創立七十周年の節目の年を迎え、
県民の皆様の防災意識の高揚に寄与するため、
「徳島防災フェア」を開催し、多数ご来場の皆
様に大規模災害における自衛隊と地方公共団体
等との取組みについて、広くご理解を頂けた
ものと思料致します。これもひとえに第十四旅
団の皆様の平素からのご支援とご協力の賜物と
深く感謝申し上げます。
さて、防衛力の中核を担う自衛官の募集環境
は、少子化や労働人口の減少により深刻な人手
不足社会を迎えるなか人材獲得競争はより熾烈
なものとなっております。我々徳島地方協力本
部は、優秀な人材を確保するため募集要領を含
めた業務の見直しを行い、積極的に地域のイベ
ントに参加して募集対象者などに對し、自衛隊
の任務や役割、職務内容を丁寧に説明し、SNS
による情報発信などあらゆる選択肢を排除せ
ず、人的基盤の強化に取り組んでいくところと
ございます。
本年も徳島地方協力本部は厳しい募集環境の
なか、引き続き人材確保に努めるとともに、隊
員が安心して退職の日まで職務に専念できるよ
う円滑な退職支援、予備自衛官の確保、関係部
外団体等との協力関係の強化に努め、県民の皆
様と防衛省自衛隊との架け橋となり邁進してい
く所存であります。今後とも皆様の温かいご支
援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
皆様の「健勝」とご多幸を祈念申し上げ新年の
挨拶と致します。



自衛隊香川地方協力本部長
一等陸佐 上田 俊博

新年明けましておめでとうござい
ます。
第十四旅団の皆様におかれまして
は輝かしい新年をお迎えのこととお
慶び申し上げますとともに、平素か
らの自主募集情報の提供、各種イベ
ント等での装備品展示や音楽演奏支
援、職場体験等の部隊見学対応など
様々なご支援とご協力に感謝申し上
げます。特に「陸自ワーキングフェ
スティブ四国（募集広報の日）」で
は、四国の募集対象者に対して様々
なキャリアのある陸上自衛隊の仕事
について理解してもらう良い機会と
なりました。各種説明会等において
も様々なキャリアのリクルーターを
派遣いただき、募集対象者の疑問に
答え、入隊への後押しとなり、志願
者獲得の寄与に繋がっています。ま
た、自衛隊高松定期演奏会では初の
日米合同演奏となり来場された方々
に感銘を与え、自衛隊の活動に對す
る理解の獲得につながりました。
本年も香川地本は厳しい募集環境
の中、引き続き人材確保に努めると
ともに隊員の皆様が退職の日まで安
心して職務に専念できるよう円滑な
退職支援と処遇の向上に努める所存
です。今後とも深いご理解とご協
力を賜りますようお願い申し上げます。
最後に、皆様のご健勝とご多幸を
祈念申し上げ新年の挨拶と致します。



自衛隊愛媛地方協力本部長
一等陸佐 真部 亮太

新年明けましておめでとうござい
ます。皆様におかれましては輝かし
い新年をお迎えのこととお慶び申し
上げます。
昨年は能登半島地震等の災害、戦
後もっとも厳しいといわれる安全保
障環境の継続等内外ともに厳しい状
況でしたが、一方で、防衛力の抜本
的強化二年目の順調な進捗、防衛
省・自衛隊発足七十周年の節目、さ
らにはコロナ禍もあけ、各種イベン
トが活発化し、部隊・隊員の方々に
手厚いご協力をいただいた年となり
ました。厚く御礼申し上げます。
本年は、防衛力の最重要基盤であ
る「人」に関する各種改善が本格
化・具体化する年と認識しておりま
す。早速、新年早々第四回目となる
曹候補生の採用試験、南海レス
キュー訓練及び国・県と連携した就
職支援業務など新たな取組を開始し
様々な試みをいっそう実施して参
る所存です。皆様のご理解とご支援が
益々貴重なものとなります。我々愛
媛地方協力本部は、これからも皆様
と連帯し、工夫し、前向きに任務に
邁進する所存ですので、引き続きご
協力をいただければ幸甚に存じます。
本年が活気と希望に満ちた年であ
り、皆様のご健勝とご多幸を祈念申
し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



自衛隊高知地方協力本部長
一等陸佐 堀川 佳紀

新年明けましておめでとうござい
ます。
皆様におかれましては新年を健やかに
迎えるのこととお慶び申し上げます。旧年中
は皆様から自衛隊高知地方協力本部に格別
のご高配を賜り心から御礼申し上げます。
昨年は、少子化の進展に伴う適齢者人口
の減少や高水準の企業収益を背景に旺盛な
民間の求人ニーズ等の様々な要因により、
令和四年度地方協力本部としては先行的かつ
え、高知地方協力本部としては先行的かつ
積極的に広報活動や募集対象者への説明会
並びに職場体験学習や防災学習支援等を実
施して参りました。このことから、令和六
年度の募集についても引き続き厳しい状況
は続いておりますが、令和五年度に比し幾
分か健康で起きている状況にありますので、
今後も高知県民の皆様が自衛隊をより認知
して頂けるように創意工夫して募集業務に
取り組んで参りたいと思っております。第十四
旅団の皆様には引き続き募集に関するご支援
とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。
本年も厳しい募集環境が続くと思わ
れますが、高知地方協力本部は引き続き有
為な人材の確保に尽力するとともに、退職
予定隊員が安心して業務に専念できるよう
就職支援の支援や我が国の防衛力を支える
予備自衛官の確保などに全力を尽くす所存
でありますので、今後ともご理解とご協
力を賜りますようお願い申し上げます。
最後に、皆様のご健勝とご多幸を祈念申
し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

防衛・警備四国四県隊区担任部隊長

香川県・徳島県隊区長



第15即応機動連隊長
一等陸佐 徳淵 文雄

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げますとともに、平素から格別のご支援・ご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年は波乱の幕開けとなった辰年でしたが、世界及び我が国周辺の情勢は引き続き混沌としており、武力紛争や大量破壊兵器使用のリスクは依然として予断を許さない状況にあります。また、物価高騰や人口減少に伴う人材獲得競争はますます激化しており、防衛省・自衛隊のみならず、日本社会のあらゆる組織・団体等において、後輩の確保・育成が喫緊の課題として取り沙汰されております。このような中、創隊七周年目を迎えた当連隊は、皆様の信頼にこたえるべく着実に実力を進化しつつ、地域との連携をこれまで以上に取り組んでまいりました。特に、七月に実施した米陸軍との共同訓練や十月の陸上自衛隊演習などの主要な演習を通じて、練度向上のほか、香川県・徳島県を中心に四国各地域のイベントや防災訓練等にも積極的に参加して皆様の信頼獲得に努めてまいりました。

令和七年も引き続き旅団の筆頭部隊として、健全かつ精強な部隊の育成に努めつつ、皆様からの負託により一層応えてまいります。皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。また、皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

高知県隊区長



第50普通科連隊長
兼ねて高知駐屯地司令
一等陸佐 水関 謙作

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、第五十普通科連隊及び高知駐屯地に対して多大なるご理解、ご協力及びご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、県外で実施された大規模な旅団演習に参加しつつ、独自の野営訓練を複数回実施するとともに、自治体及び関係機関の各種防災訓練に参加することによって、いかなる事態にも即応できるような練度を向上させてまいりました。更には、四月の豊後水道地震、八月の日向灘地震、台風の接近等への備えについて、関係自治体等と連携しつつ着実に実施することにより、その実効性を向上させてきたところであります。

本年も、高知県を担任する部隊として、いかなる任務にも即応してこれを必遂できるよう、関係自治体、関係機関、関係団体等と緊密に連携しつつ、部隊の練度を絶え間なく向上させるとともに、これと並行して各種事態への即応態勢を確立して、皆様に信頼していただくべく、引き続き精進する所存です。引き続き、第五十普通科連隊及び高知駐屯地に対するご理解とご協力をお願いいたします。

結びになります。令和七年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心から祈ります。新年のご挨拶とさせていただきます。

愛媛県隊区長



中部方面特科連隊第4大隊長
兼ねて松山駐屯地司令
二等陸佐 谷川 維孝

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は一方ならぬ御高配にあずかりました。中部方面特科連隊第四大隊及び松山駐屯地所在各部隊を代表し、厚く御礼申し上げます。

松山駐屯地は、昨年三月に中部方面特科隊を含む一部部隊が改編を終え、間もなく一年を迎えます。

この間、機動旅団の火力戦闘部隊として任務達成に必要な練成訓練・特に、日米共同訓練（オリエンタール）に参加し米軍との共同実弾射撃を実施するとともに、陸上自衛隊演習において新たな火力運用要領、戦術行動を重点的に練成し、事態対処能力を向上させ大きな成果を得ることができました。

また、松山駐屯地は昨年一月の能登半島地震において、松山駐屯地は約百五十人の隊員が災害派遣活動に従事するとともに、四月の豊後水道地震、七月の松山城土砂災害、八月の日向灘地震に密接に連携し、県庁等に連絡員を派遣、関係機関と密接に連携し、駐屯地の派遣準備態勢に移行しました。引き続き、各種防災訓練にも積極的に参加し、激甚化する災害に円滑に対応できるように準備を促進する等、各種事態への備えを万全なものにしています。

愛媛県隊区担任部隊として、愛媛県のみならず、安心して安全をお届けすることができるよう、最大限に発揮できるような本年も錬磨して参ります。引き続き皆様の御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様の御健康と御多幸を祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

新年明けましておめでとうございます

第14旅団司令部



第二部長
二等陸佐 鈴木伸次郎



第一部長
二等陸佐 中尾 忠男



旅団最先任上級曹長
准陸尉 原 清悟



幕僚長
一等陸佐 瀧澤 英一



第三部長
一等陸佐 平山 雄三



総務課長
二等陸佐 土橋 晃輔



火力調整部長
一等陸佐 田久保 智



第四部長
二等陸佐 森 祐子



会計課長
三等陸佐 佐藤 廣紀

副旅団長兼ねて善通寺駐屯地司令
一等陸佐 岡 一博



医務官
三等陸佐 中川 隆一



監察官
二等陸佐 井上 裕策



法務官
三等陸佐 宮崎 慎也



第14旅団各部隊長



第14飛行隊長兼ねて
北徳島分屯地司令
一等陸佐 桑原 正之



第14高射特科隊長
二等陸佐 渡辺 大嗣



第14情報隊長
二等陸佐 濱田 安彦



第14偵察隊長
二等陸佐 神品 秀雄



第14後方支援隊長
一等陸佐 渡邊 修



第14音楽隊
一等陸尉 平林 誠



第14旅団司令部付隊長
三等陸佐 菅 貴光



第14特殊武器防護隊長
三等陸佐 西原 清隆



第14通信隊長
二等陸佐 脇田祐一朗



第14施設隊長兼ねて
徳島駐屯地司令
二等陸佐 吉田 正幸



第14旅団ホームページが新しくなりました！

新着情報

2024.12.20

旅団ホームページをリニューアルしました

ピックアップ

活動状況

第14旅団

活動状況を更新しました

各コンテンツ紹介

旅団紹介

旅団長紹介

イベント情報

フォトギャラリー

リンク集

活動状況

広報誌しこく

アクセス

サイドポリシー

24時以降の活動状況は、旅団の公式ホームページでご確認ください

この度、第14旅団公式ホームページが新しくなりました！

これからも活動状況等積極的に発信していきます♪

他にもSNS(X、フェイスブック)も更新しておりますのでフォロー&コメントよろしくお願いします！



HP



X



Facebook

第14旅団

検索

あなたのその疑問！！

チホンが答えてくれます！

チホンとは？

地方協力本部（**チホン**）のことであり各都道府県にある皆様と自衛隊を繋ぐ総合窓口です。**チホン**は防衛省の陸上、海上、航空自衛隊の共同機関であり、陸上自衛隊が管理しています。

地本には現役の自衛官が広報官として勤務しており自衛隊を希望する方に寄り添いさまざまな問い合わせに答えてくれたり、説明会や体験見学の機会を案内してくれるだけでなく、自衛隊という職場をよく知るのに、現場の様子などを直に聞くことのできる大変頼りになる人たちです。

「自衛隊に入りたい」と思ったら、まずは**チホン**に問い合わせるのが一番の近道です。

感謝されるいい仕事

災害派遣等で、被災地から多くの感謝の言葉を頂くなど**やりがいのある仕事**です。



☀️ 体力なくても大丈夫

文化部出身の自衛官もたくさんいます。入隊後に**段階的に体力づくりをする**ので、現在体力がなくても大丈夫です。

（採用時に体力測定はありません。）



📅 休みは年間150日

週休2日、年次休暇24日／年
特別休暇、産休・育休あり
プライベートもしっかり
充実できる

働きやすい職場です。



あらゆる仕事がある職場

銃を持ったり、戦車、艦艇に乗るだけでなく、整備のほか**経理や倉庫管理等の事務職**や**食品調理の仕事**などあらゆる仕事があります。関係する資格も取れます！



安定の公務員

ボーナス2回、毎年必ず昇給、豊富な手当、保険等**充実した福利厚生**！さらに、駐屯地の医務室は受診無料で、駐屯地に住んでいる間は3食無料です。（お給料のほとんどを貯金できます。）



☀️ チームワークで助け合う職場

一人ひとりの力は限られていますがチームワークによって**皆で一丸となって大きな仕事をします。**



もっと詳しく知りたい方は・・・

資料請求

イベント情報



ホームページを是非ご覧下さい！

自衛隊 ○○地本 **検索**

🏠 四国在住の方はこちら



徳島



香川



愛媛



高知

